



《ご参考資料》

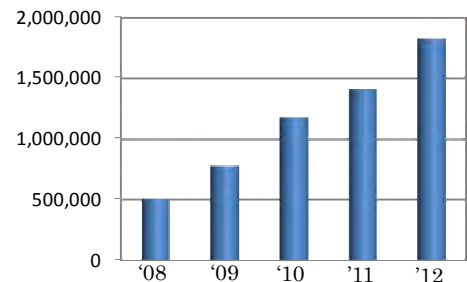
「あそび」を科学的に考え開発した子どもの発育サポート施設
親子の室内あそび場「KID-O-KID (キドキド)」、
2012 年来場者数が 180 万人を突破

不足する屋外遊び環境や地域コミュニティの代替として、子育てに必須の施設に成長

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、親子に人気の室内遊び場「KID-O-KID（キドキド）」の2012年の年間来場者数が約182万人に達したことをお知らせいたします。2011年の来場者数約141万人を30%近く上回り、2004年の運営開始以来、最多のお客様にご来場いただきました。

「キドキド」とは、親子一緒に運動やあそびを楽しめ、子どもの“こころ・頭・からだ”のバランスがとれた発育をサポートする屋内遊戯施設です。子どもの体の動きを引き出しながらかあそびを促す「プレイリーダー」が常駐。運動科学の先進国といわれるデンマークの最新体育理論により開発したボーネルンドオリジナル運動遊具を中心に、全身を使って遊ぶ運動遊具や0歳児でも安全に遊べる小型遊具などを用い、子どもの発達段階に応じた多様なあそびを存分に楽しむことができる施設です。通常保育と比較して高い運動効果があることや、子ども自身の高い満足度などからリピーターも多く、運営開始以来、来場者数は好調に推移してまいりました。

「キドキド」の年間来場者数推移



近年では、親子のあそび場としてだけでなく、異年齢の子どもたちの交流の場、親同士のコミュニケーションの場、子育ての悩みを打ち明けられる場としても活用いただいております。多くの親子にとってなくてはならない施設に成長しています。

「公園」の数が増え続ける*一方で、キドキドに来場する保護者からは、「子どもと安心して遊べる場所がない」「子どもと遊ぶ場所に困っている」などの声が寄せられます。公園は増えていても、子どもたちが自由に安心して遊べる場所にはなっておらず、むしろそのような場が減少しているとも考えられ、子どもの成長への影響が懸念されます。

子どもは遊びを通して様々な経験を積むことで、自立した大人へと成長していきます。当社では、子どもの成長に寄与する豊かなあそび環境を、子どもを取り巻くあらゆる場所に作る必要があると考え、今後も全国で「キドキド」の新店舗を進めてまいります。今年度は2店舗の新規出店を計画、年間来場者数は220万人を目標としています。

*国土交通省データ 都市公園等の面積・箇所数の推移より

http://www.mlit.go.jp/crd/park/joho/database/t_kouen/pdf/01_h22.pdf

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国89カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万カ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国16カ所、年間182万人の親子が訪れています。

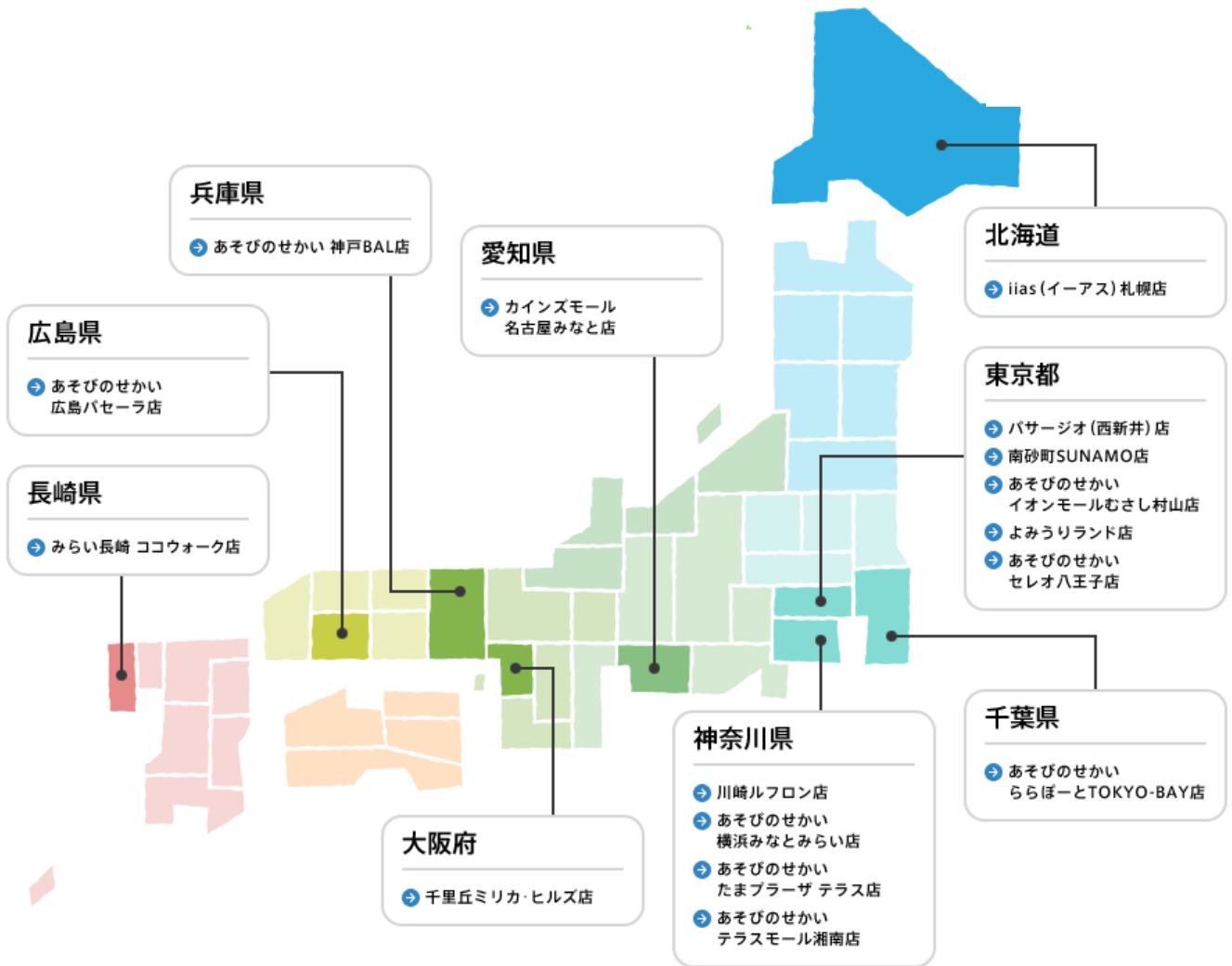
《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーネルンド 広報室 担 当：村上、讃井 T E L：03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail：y-murakami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当：古澤、五味渕、山口 T E L：03-4580-9104 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
--	---

《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》

株式会社ボーネルンド TEL：0120-358-518

■ キドキド店舗一覧 (2013年1月現在)



※ あそびのせかいとは、ポーネランドショップとキドキドが融合した施設です

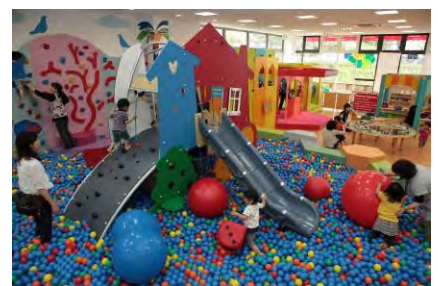
■ 施設内の主な遊具イメージ



エアトラック



サイバーホイール



ボールプール



ギアのかべ



ごっこあそびコーナー



赤ちゃん専用コーナー